

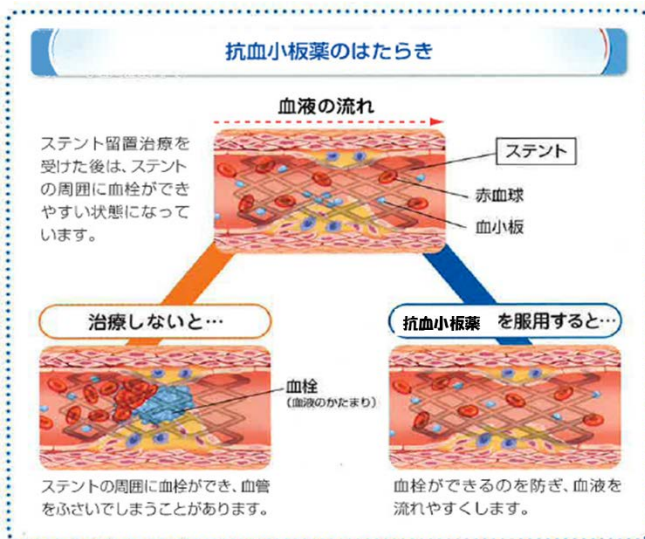
* 血をさらさらにする薬 *

なぜ血をさらさらにする薬を服用するのか...。理由は血管を詰まらせないためです！

加齢や、慢性疾患(高血圧や脂質異常症、糖尿病)、喫煙などが原因となって動脈硬化が進むなどし、動脈内の異常部位に血小板が粘着し、血栓形成の足場を作ると考えられています。抗血小板薬という分類の薬は、この動脈における血栓形成予防にとっても有効で、心筋梗塞や不安定狭心症、脳梗塞などを予防します。



【抗血小板薬(一部)】



カテーテル治療をされた方へ

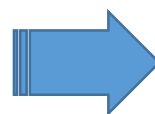
カテーテル治療にも抗血小板薬は必要となります。ステント治療により、血管は広がり、血流はよくなりますが、ステントを体が異物と認識し、ステントの周囲に血栓をつくってしまうステント血栓症を引き起こしてしまうことがあります。このため、**ステントを入れた後も抗血小板薬の服用がとても大切になります。**またステントを入れられてから一定期間、**抗血小板薬を2剤併用**する必要があります。同じ薬だからと勝手にやめたりせず、医師の指示どおり服用するようにしてください。

服用中の注意点

血をさらさらにする薬共通にいえることですが、血がとまりづらくなることがあります。ケガをする恐れのある仕事や運動は避け、打撲や打ち身、出血などしないように注意して下さい。歯ブラシは柔らかめを使い、ひげをそる時は電気カミソリをお勧めします。血尿、血便があれば、すぐに受診してください。

また、この薬は検査や治療の際に服用を中止する可能性があります。他の病院や歯医者さんに行かれた際は、必ず血をさらさらにする薬を飲んでいることを伝えてください。

CHECK



- ひどいあざ
- 歯ぐきからの出血
- 色の濃い尿、赤黒い便
- 止まらない鼻血
- 目の充血

思い当たることがあれば、
主治医までご相談下さい。